



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東  
コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 (TEL) 03-6362-1300  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>  
四半期決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,676	△6.9	△396	—	△372	—	△258	—
2023年3月期第3四半期	12,540	10.4	△71	—	△53	—	△92	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △259百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △94百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△18.74	—
2023年3月期第3四半期	△6.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	9,842	4,663	43.5	308.10
2023年3月期	8,072	4,858	55.4	327.41

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,281百万円 2023年3月期 4,474百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,400	△3.1	△200	—	△190	—	△320	—	△23.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,103,600株	2023年3月期	13,960,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	206,363株	2023年3月期	295,979株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,815,240株	2023年3月期3Q	13,615,408株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

2024年3月期第3四半期決算は、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)において動画を掲載する予定であります。この四半期決算説明動画で使用する資料についても、同日、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことで、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続いております。一方、長引くウクライナ情勢の緊迫、資源価格の高騰やインフレ率の上昇に伴う世界的な金融引き締め政策の継続による海外経済の減速、金融資本市場の変動や物価上昇、国内金融政策の動向等による国内景気への影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「AllAbout」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,676百万円(前年同四半期比6.9%減)、営業損失は396百万円(前年同四半期は71百万円)、経常損失は372百万円(前年同四半期は53百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は258百万円(前年同四半期は92百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

## (マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当第3四半期連結累計期間において、検索エンジンのロジック変更等によるメディアセッション数の減少や、広告市況の悪化に伴うインターネット広告単価の低下等により、メディア売上が減少いたしました。また、費用面に関しては、コンテンツマーケティングプラットフォーム「PrimeAd」の開発費用など戦略投資が増加したことなどにより、前年同四半期比で減収減益となりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は1,237百万円(前年同四半期比27.9%減)、セグメント損失は325百万円(前年同四半期は31百万円)となりました。

## (コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、dショッピング事業が堅調に推移し成長を継続している一方、サンプル百貨店において、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和に伴うリアル回帰などで売上が減少いたしました。また、費用面ではd払いネットショッピングやふるさと納税百選の開発投資を行ったことなどにより、前年同四半期比減収減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は10,438百万円(前年同四半期比3.6%減)、セグメント利益は266百万円(前年同四半期比21.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,640百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が432百万円、未収入金が1,652百万円、商品及び製品が68百万円増加した一方、売掛金が581百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアが10百万円、投資有価証券が107百万円、繰延税金資産が71百万円増加した一方、ソフトウェア仮勘定が57百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,961百万円増加いたしました。これは主に未払金が2,012百万円、未払費用が40百万円、未払消費税等が28百万円増加した一方、買掛金が130百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は124百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が3百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ29百万円増加した一方で、40百万円の配当実施により資本剰余金が40百万円、自己株式処分差損の計上により93百万円、自己株式の処分により自己株式が139百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失を258百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月9日の「2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,900,791	2,333,119
売掛金	2,021,413	1,440,255
未収入金	1,553,594	3,206,060
商品及び製品	287,320	356,089
未成制作費	15,475	76,584
前払費用	88,480	90,633
その他	18,002	18,852
貸倒引当金	△6,070	△1,908
流動資産合計	5,879,008	7,519,685
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△37,273	△52,899
建物(純額)	224,336	208,711
工具、器具及び備品	86,309	87,801
減価償却累計額	△48,715	△56,532
工具、器具及び備品(純額)	37,594	31,269
有形固定資産合計	261,930	239,980
無形固定資産		
のれん	7,172	4,939
ソフトウェア	996,201	1,006,944
ソフトウェア仮勘定	83,554	25,927
その他	522	522
無形固定資産合計	1,087,451	1,038,335
投資その他の資産		
投資有価証券	400,050	507,116
関係会社株式	66,318	79,334
破産更生債権等	15,938	15,938
差入保証金	305,037	310,162
繰延税金資産	40,260	111,291
その他	32,859	36,382
貸倒引当金	△15,938	△15,938
投資その他の資産合計	844,526	1,044,288
固定資産合計	2,193,908	2,322,603
資産合計	8,072,916	9,842,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,063,731	933,561
未払金	1,501,312	3,513,489
未払費用	373,272	413,615
未払法人税等	23,428	5,183
未払消費税等	7,662	35,860
前受金	77,569	90,525
預り金	30,397	35,658
賞与引当金	2,700	2,061
その他	12,783	24,274
流動負債合計	3,092,858	5,054,230
固定負債		
退職給付に係る負債	46,494	50,035
資産除去債務	74,350	74,350
その他	319	—
固定負債合計	121,163	124,385
負債合計	3,214,021	5,178,615
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,288,720	1,318,616
資本剰余金	2,153,747	2,049,088
利益剰余金	1,493,499	1,234,558
自己株式	△460,890	△321,356
株主資本合計	4,475,077	4,280,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,024	895
その他の包括利益累計額合計	△1,024	895
新株予約権	6,323	6,130
非支配株主持分	378,519	375,741
純資産合計	4,858,894	4,663,673
負債純資産合計	8,072,916	9,842,289

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	12,540,622	11,676,170
売上原価	5,263,517	4,784,660
売上総利益	7,277,105	6,891,509
販売費及び一般管理費	7,348,796	7,287,571
営業損失(△)	△71,691	△396,061
営業外収益		
受取利息	1,615	1,576
受取配当金	6,500	3,000
持分法による投資利益	2,660	13,016
投資有価証券評価益	1,265	806
助成金収入	6,060	1,250
その他	2,071	5,778
営業外収益合計	20,174	25,428
営業外費用		
投資有価証券評価損	865	1,190
その他	1,361	662
営業外費用合計	2,226	1,853
経常損失(△)	△53,743	△372,486
特別利益		
投資有価証券売却益	—	41,151
その他	—	50
特別利益合計	—	41,201
特別損失		
固定資産除却損	81	19
減損損失	998	1,145
特別損失合計	1,079	1,164
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,822	△332,449
法人税等	36,226	△70,730
四半期純損失(△)	△18,596	△403,179
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,836	△2,778
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,432	△405,957



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△91,049	△261,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,219	1,920
その他の包括利益合計	△3,219	1,920
四半期包括利益	△94,269	△259,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,106	△257,019
非支配株主に係る四半期包括利益	1,836	△2,778

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,717,378	10,823,244	12,540,622	—	12,540,622
外部顧客への売上高	1,717,378	10,823,244	12,540,622	—	12,540,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,645	2,312	44,957	△44,957	—
計	1,760,024	10,825,556	12,585,580	△44,957	12,540,622
セグメント利益又は損 失(△)	△31,613	339,419	307,805	△379,496	△71,691

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△379,496千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,237,831	10,438,339	11,676,170	—	11,676,170
外部顧客への売上高	1,237,831	10,438,339	11,676,170	—	11,676,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,179	610	45,789	△45,789	—
計	1,283,010	10,438,949	11,721,959	△45,789	11,676,170
セグメント利益又は損 失(△)	△325,297	266,865	△58,432	△337,629	△396,061

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△337,629千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。